

茨城県の教育目標
いばらき教育プラン
R5学校教育指導方針

【本校教育の目標】 よく学び、心豊かで、たくましい「菅原っ子」の育成

テーマ

笑顔いっぱい 夢いっぱい どの子にも やる気と自信 ねばり強さを育む

常総市の教育大綱
・「夢をいだき 未来を創る
ほっとな絆の 常総教育」
・未来に夢をもち「生きる力」
を育む学校教育の充実

目指す学校の姿

信頼される安心安全な学校

- ◇ 家庭と地域社会・関係機関との連携を密にした、信頼される安心安全な学校づくりを目指します。
- ① 安全教育・通学路の安全点検の実施
- ② 施設・設備の整備、環境美化
- ③ 地域との連携・協働の促進（コミュニティ・スクールの導入）
- ④ 保幼小中連携の充実
- ◇ 児童の願いや地域の期待に応えるために、学校評価による改善充実を目指します。
- ① well-beingによる教職員のパフォーマンス向上
- ② 保護者・地域との連携強化
- ③ RPDCAサイクルによる改善



創立134年目

目指す児童の姿

なかよく助け合う子

やさしく

【すてきな えがお】

- ◇ 教育活動全体を通して、豊かな心と将来の夢をはぐくむ教育を推進します。
- ・一人一人を大切にできる集団づくりを通して、思いやりのある子を育てる。
- ・よさを認め合い、自己有用感を高める。
- ・進んであいさつのできる子を育てる。
- ① 一人一人を生かした集団活動の推進（縦割り班清掃、特別活動の充実）
- ② 一人一人のよさを認め合う場の活用（自分のよさを知り、友達のよさを認める）
- ③ 笑顔で元気なあいさつのできる子の育成
- ④ 特別支援教育の充実
- ⑤ 豊かな体験活動を通し、現在の自分を見つめ将来の夢を育む指導の充実（自己を振り返り、夢をもち目標に向かう活動）

到達目標
・夢や目標を決め、がんばる児童 → 90%（自己評価）
・すすんであいさつのできる児童 → 90%（自己評価）



児童一人一人のよさを認め、伸ばすとともに、心の教育を進める。

すすんで学び努力する子

かしこく

【がんばる べんきょう】

- ◇ 自分の考えをもち、分かりやすく伝え合う授業の工夫で、基礎・基本の確実な定着と思考・判断・表現する力、探究的な学び推進の育成を図ります。
- ・研究テーマ
- すべての子どものよさや可能性を引き出す指導の在り方
～ UDの視点を踏まえた指導の充実を通して～
- ① 基礎基本の確実な定着を図る指導の工夫（ひらめきアイテム、月例テスト、ノート指導）
- ② 表現し、伝え合う力を高める指導の充実（ICTの効果的な活用、ペア・グループ等による言語活動の充実、アウトプットの工夫）
- ③ 身に付けた力を振り返る学習課程の工夫（見通しの重視、振り返りの時間の充実）
- ④ 家庭学習の習慣化の工夫（学年×10分+10分、電子ドリルの活用）
- ⑤ 読書指導の充実（みんなにすすめたい一冊の本事業の活用、並行読書、家読）

到達目標
・自分の考えを分かりやすく伝えることができる児童 → 80%（自己評価）
・読書50冊達成する児童 → 85%（記録）



言語活動の充実と発達段階に応じた主体的な学習を促し、確かな学力の向上を図る。

たくましい心と体をもつ子

たくましく

【はつらつ けんこう】

- ◇ 明るく元気で健やかな体と健康の保持増進のための実践力を育てます。
- ・運動に親しむ習慣を形成し、体力の向上を図る。
- ・自他の生命尊重を基盤とした安全能力の育成を図る。
- ① 欠席者0運動の推進（検温アプリの活用、個別の支援、皆勤賞による奨励）
- ② 体育指導の充実（運動量の確保、教具・場の工夫等）
- ③ 健康をはぐくむ食育の推進（食育指導・給食指導の充実、他校栄養教諭との連携）
- ④ 安全教育の実践（危険予測・回避能力の育成、避難訓練、交通安全教室、AED研修）

到達目標
・欠席者0の日 → 50日（保健統計）
・運動が好きで外遊びをする児童 → 80%（自己評価）



進んで運動に取り組み、健康に生活できる子を育てる。



組織目標：何事にも、自信をもって、自主的・意欲的に取り組む児童の育成を図る。

働き方改革：協働の意識をもって学校運営に参画し、ワーク・ライフ・バランスの実現に努める。